



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26  
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196  
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



撮影 加賀支部 佐藤 裕之会員  
使用カメラ:ニコンD3100  
使用レンズ:TAMRON DiII 18-270mm

[石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会]  
「心身の健全な育成に努め、親睦と友好を深める」ことを目指して昭和63年にスタートしたこの大会も、今年で26回目。ロンドンオリンピック金メダリストの松本薫選手や北京オリンピック出場の金丸雄介選手など日本を代表する柔道家を排出してきた伝統ある大会に成長しました。  
今年は5月12日に開催され、25チーム355名の小学生が参加して熱戦が繰り広げられました。写真は選手宣誓を行う津幡町少年柔道教室の岩見偉汰選手。  
(公社)石川県柔道整復師会では、この大会の主催をとおして少年柔道の振興とレベルアップに努めています。



石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会  
選手宣誓／岩見偉汰選手(津幡町少年柔道教室)

## [柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し、技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以って接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず、患者の回復に全力を尽くす。

C O N T E N T S

### 1 特集／柔道

第 26 回(公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会  
四支部対抗柔道大会 兼 北信越ブロック大会選手選考会  
第 35 回北信越ブロック柔道大会

### 7 第 35 回北信越学術大会 福井大会

### 8 喜びの受賞者

石川県知事表彰  
厚生労働大臣表彰

### 11 サポート接骨石川(SSI)ボランティア活動報告

第 62 回金沢百万石まつり

新入会員紹介

### 13 Member's Voice

隨想 川本 力雄

### 14 トピックス



## ～柔道整復術の源に「武道のこころ」～ 柔道の精神を広め、 伝えていくという使命

柔道整復術の背景には柔術の伝統と精神が流れています。柔道整復師会では会員が柔道の素養を積み「精力善用」「自他共栄」の精神を施術に活かすとともに、柔道競技の普及にも努めています。

### (公社)石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会

## 窪田柔道倶楽部 10年ぶり 優勝に男泣き

晴天に恵まれた5月12日(日)、白山市松任総合運動公園啓武館にて第26回石川県柔道整復師会旗争奪少年柔道大会が盛大に開催されました。この大会は、近年活躍が目覚ましい石川県出身選手たちが、小学生だった頃にしのぎを削った大会です。

ロンドンオリンピックで日本柔道界に唯一の金メダルをもたらした松本薫選手、北京オリンピック出場の金丸雄介選手、3月の全国高校柔道女子70キロ級で初優勝した橋高朱里選手、5月に行われたドイツ・カデ国際大会女子70キロ超級で優勝した糸田晴乃選手など、柔道界では石川県出身選手の活躍が目立ちますが、彼らが小学校の頃出場したのがこの大会です。



この大会での松本薫選手や金丸雄介選手の奮闘ぶりが、ついこの前のことのように思い出されます。皆さんも大先輩に続くよう、そして10月に行われる全国大会出場をかけて頑張ってください。

開会式で出場選手たちを激励する木山時雨会長。



団体優勝の窪田柔道倶楽部と個人優勝の皆さん。

今年も優勝旗を目指して県内各地より25チーム355名の選手が参加、観客席には選手の家族が詰め掛けてたちまちいっぱいとなり、会場は実行委員会や審判団を含めた1300余名の熱気であふれました。

開会式では、木山時雨会長の挨拶の後、井田正一白山市教育委員会教育部長と本会顧問の田中博人県議会議員からお祝いと励ましの言葉が贈られました。続いて津幡町少年柔道教室の岩見倅汰選手が元気良く選手宣誓を行い熱戦の火蓋が切られました。

注目の団体戦決勝は、5月に行われた全国少年柔道



救護班が選手の頑張りをサポート。



お互いに負けられない一戦！

勝者は？  
緊張の瞬間。



席からの大声援の中、両チームの選手達は全力で戦い、僅差で窪田柔道倶楽部が10年ぶりの優勝を飾り会場から大きな拍手を受けました。

試合後、優勝を決めた選手達が感激のあまり泣き出てしまい、それをなだめていた監督や倶楽部関係者もいつの間にか一緒にになって男泣きしてしまう光景が見られました。これまでベスト4や準優勝など好成績をおさめながら、あと一步及ばなかった選手や監督にとって、今大会の優勝がどれだけ価値があるのかが伝わってくる感動的なシーンでした。全国の代表が出

い。指導してくれている先生にお礼を言いたい。

### 個人優勝おめでとうございます 選手にインタビュー！

男子1年の部 辻 陽風(加賀聖武館少年柔道教室)

もっと勝てるよう、これからも頑張りたい。

男子2年の部 藤岡 韶基(邑知少年柔道教室)

前まで勝てなかつた相手に勝つことができたので嬉しかった。

男子3年の部 南出 健慎(鶴来坂田道場)

途中、負けそうになつたけれど、最後まで頑張つて良かった。

男子4年の部 生田 勇次郎(内灘町少年柔道教室)

一生懸命練習をしてまた一位になりたいと思った。

男子5年の部 橋高 義人(窪田柔道倶楽部)

優勝できたのは一生懸命に練習をしてきたからだと思う。団体戦でも優勝できてとても嬉しい。

男子6年の部 寺島 悠太(鶴来坂田道場)

石川県での大きな大会に勝つことができ本当に嬉し

い。指導してくれている先生にお礼を言いたい。

女子1年の部 中村 美羽(全日本柔道少年団七尾分団)

応援してくれたおばあちゃん、お父さん、お母さん、弟も喜んでくれたので良かった。

女子2年の部 山下 万葉(鶴来坂田道場)

もっと練習して、また来年も優勝したいと思った。

女子3年の部 西出 幸帆(全日本柔道少年団小松分団)

柔道を始めて3年だけど、もっといっぱい頑張って強くなりたい。

女子4年の部 北野 那美(中能登柔道教室)

お父さんとお母さんが応援してくれて、頑張ることができた。

女子5年の部 宮本 春菜(松任柔道スポーツ少年団)

去年は負けたけれど今年は優勝できたので良かった。来年も勝ちたいと思う。

女子6年の部 河合 葉菜(全日本柔道少年団小松分団)

優勝できたことが母の日のプレゼントになって良かった。柔道を始めて5年、今は毎日のように練習しているので、もっと強くなりたい。

場する日整少年柔道大会でも、窪田柔道倶楽部の頑張りを応援したいと思います。

続いて、学年別・男女別の個人戦が行われ、選手達が日頃の練習の成果を発揮した試合が続きました。

当大会で活躍し、世界のトップレベルにまで成長した選手たちの存在は大会関係者にとって大きな励みであり、またこの大会が県下で最大級の少年柔道大会になったのも、「柔道を通じて心身の健全な育成と少年柔道の振興に努める」という大会趣旨が理解され、石川県柔道

### 【総合成績表】

団体戦		最優秀選手	草間 康生		窪田柔道倶楽部			
優勝	窪田柔道倶楽部	優秀選手	関軒 楽生	窪田	中江 美咲	岩井		
2位	内灘町少年柔道教室		尾吉 礼夢	内灘	河島 正宗	邑知		
3位	松任柔道スポーツ少年団		北野 那美	中能登	寺島 悠太	坂田		
3位	鶴来坂田道場		井本 郷	松任	尾崎 翔太	加賀		
個人戦 男子1年生		所属チーム	個人戦 男子2年生		所属チーム	個人戦 男子3年生		
優勝	辻 陽風	加賀	優勝	藤岡 韶基	邑知	優勝	南出 健慎	鶴来
2位	中居優太郎	内灘	2位	広瀬 大和	津幡	2位	森田 陽彦	邑知
3位	久保 昂永	中能登	3位	松井颯士朗	中能登	3位	福田 悠真	坂田
3位	北川隆之介	北陸綜警	3位	村上 垣塔	岩井	3位	堀川 航	中能登
個人戦 男子4年生		所属チーム	個人戦 男子5年生		所属チーム	個人戦 男子6年生		
優勝	生田勇次郎	内灘	優勝	橋高 義人	窪田	優勝	寺島 悠太	坂田
2位	安田 琢磨	田中	2位	古谷 渉	松任	2位	川崎 弘斗	北陸綜警
3位	西田 真人	七尾	3位	仲川 裕太	坂田	3位	生田 勇介	内灘
3位	尾嶋 大和	内灘	3位	松井 拓樹	松任	3位	草間 康生	窪田
個人戦 女子1年生		所属チーム	個人戦 女子2年生		所属チーム	個人戦 女子3年生		
優勝	中村 美羽	七尾	優勝	山下 万葉	鶴来	優勝	西出 幸帆	小松
2位	大河内結衣	窪田	2位	松山 詠名	竹野	2位	松永 実優	津幡
3位	河崎 蒼	窪田	3位	鈴鹿 心晶	坂田	3位	喜多なつみ	坂田
3位	荒井 美緒	七尾	3位	近岡 エヴァ	北陸綜警	3位	戸潤 望愛	七尾
個人戦 女子4年生		所属チーム	個人戦 女子5年生		所属チーム	個人戦 女子6年生		
優勝	北野 那美	中能登	優勝	宮本 春菜	松任	優勝	河合 葉菜	小松
2位	岩見 紗耶	津幡	2位	坂田 彩里	坂田	2位	山崎 笑佳	能美
3位	石野 姫菜	津幡	3位	松任 星来	松任	3位	山崎 朱音	松任
3位	皆田ひかり	坂田	3位	水渕こことは	窪田	3位	北野 佑美	中能登



この355人の中から  
また金メダリストが飛び出すかも…。

連盟および白山市柔道協会役員、各柔道教室の指導者ははじめ多くの方々の協力と支援があったからこそです。この大会への期待に応えるべく、主催する当会も50余名の実行委員が早朝より運営に当たりました。

これからも公益社団法人としてすばらしい大会にしたいと願っています。

平成25年5月12日 啓武館



## 四支部対抗柔道大会兼北信越ブロック大会選手選考会

# 金沢南支部が堂々の連覇！

平成25年4月14日(日)、白山市松任総合運動公園「啓武館」で四支部対抗柔道大会が開催され、各支部の栄誉をかけた熱い戦いが繰り広げられました。

### 第1試合 金沢南支部 vs 能登・加賀支部合同

昨年の北信越・日整大会出場メンバー3人を擁する金沢南支部に代表経験者の丸田選手と北浦選手が復活、完璧な布陣で臨みました。能登・加賀支部の角浦選手が善戦しましたが、南支部が5-0で圧勝。

### 第2試合 能登・加賀支部 vs 金沢北支部

能登・加賀支部の角浦選手が大外刈りで意地の一本を取り、他のメンバーも奮闘。しかし、小倉選手を中心にまとまり、安定感をみせる金沢北支部が4-1で勝利。

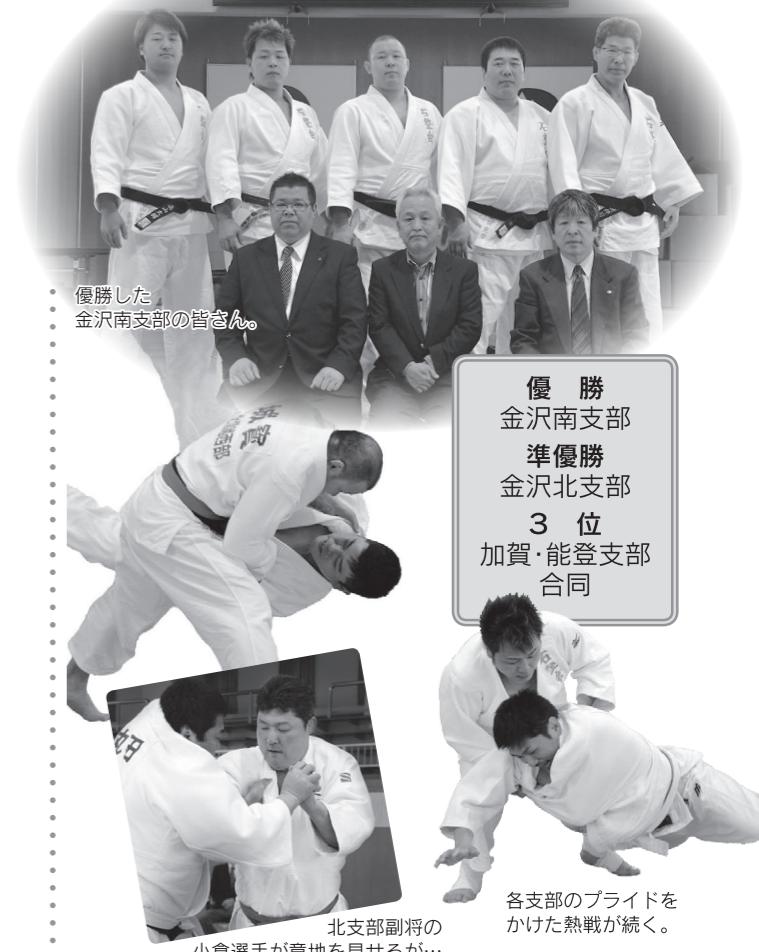
### 決勝戦 金沢北支部 vs 金沢南支部

強豪が揃う金沢南支部への闘争心を頭にする金沢北支部。粘りを見せるものの一歩及ばず3勝先制されます。小倉選手が優勢勝ちを奪ったものの4-1で南支部に軍配が上がりました。勝敗数では圧勝ですが、決勝戦にふさわしい接戦でした。



最高の笑顔で迎えた表彰式(金沢南支部)。

優勝  
金沢南支部  
準優勝  
金沢北支部  
3位  
加賀・能登支部  
合同



各支部のプライドをかけた熱戦が続く。  
北支部副将の小倉選手が意地を見せるか…

なお今大会の結果を受けて、6月に開催される北信越ブロック柔道大会の代表選手が選考されました。

### ● 出場選手の皆さん ●

	金沢北支部	金沢南支部	加賀・能登 支部合同
先鋒20代	福岡 亮	畠山 太輔	百井 和浩
次鋒30代	山田 祐輔	田中 寿人	角浦 大介 (会長獎勵賞)
中堅30代	松永 日和	城寶 忠信	片倉 英介
副将40代	小倉 弘行	丸田 克幸 (会長獎勵賞)	西 敏男
大将50代	嶽 与志蔵 (会長獎勵賞)	北浦 健司	百谷 実 (会長獎勵賞)



## 第35回北信越ブロック柔道大会

# 七連覇の偉業達成!!

平成25年6月15日(土)福井県坂井市の坂井武道館柔道場にて第35回北信越ブロック柔道大会が開催され、北信越各県の選ばれた強者たちが熱戦を展開。石川県チームは熾烈な激戦を制し7連覇を成し遂げました。

石川県チームは今大会に備えて、5月から幾度もの強化練習を重ねてきました。時には気絶する程の厳しい練習を我が身に課し万全の態勢で臨んだ石川県は、初戦の富山県を3-0で下し、続く福井県を2-0で圧倒、決勝戦へと駒を進めました。

決勝戦は7年連続で長野県との対決。打倒石川に闘志を燃やす長野県に3-0で圧勝し優勝!七連覇の偉業達成となりました。また、最優秀選手には小倉弘行選手、優秀選手に畠山太輔選手が選ばれています。チームの指導のため、



北信越ブロック会会長を務める当会の木山会長より表彰状が授与される。



優勝した石川県チーム。大声援を送り続けた応援団と。



優勝決定の瞬間!

遠方より練習場

まで通った西川

典孝監督の目には大粒の涙が流れています。

また当日は、応援に駆け付けた会員の数がどの県よりも多く、奮戦する選手達に大声援が送られていました。

なお、10月14日(月・祝)に講道館で開催される日整全国柔道大会には、石川県チームの選手全員が代表選手に選ばれ、出場することになりました。ご健闘をお祈りします。



最優秀選手賞を受賞した小倉選手。

### 【成績】

#### 西部予選リーグ

石川3-0富山  
石川2-0福井

#### 決勝戦

石川3-0長野

### 石川 代表選手の 皆さん



先鋒  
畠山 太輔 選手  
(五段)



次鋒  
田中 寿人 選手  
(五段)



中堅  
城寶 忠信 選手  
(五段)



副将  
小倉 弘行 選手  
(五段)



大将  
北浦 健司 選手  
(六段)

応援をあり  
がとうござ  
いました

### チーム全員が全国大会へ!頑張ります!!

当日遠路福井まで応援に駆け付けてくださった皆さんはもとより、本会会員のすべての皆さんのおかげで優勝することができました。

優勝候補と言われ、昨年まで6年間連続優勝というプレッシャーの中で選手が七連覇に向かって一つになり、2か月近く強化練習に励んできました。結果を残すことができてほつとしております。

本県選手は対戦相手に研究尽くされており、予選から大変厳しい戦いが続きましたが、一つの失点もなく優勝することができました。選手各位には、日々の診療後に稽古に励み大変お疲れ様でした。

昨年の日整全国大会で北信越ブロックが優勝したため、10月に開催される今年の大会には2つの代表チームが出場できます。石川県選手5名全員と不肖、私も監督として出場予定です。大会に向けてさらに精進し強化に努め、全国大会でも連続優勝ができるよう頑張りたいと思います。

誌面をお借りいたしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。



石川県代表監督  
**西川 典孝**

## 第35回(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会 県民公開講座に500人以上が参加

第35回(公社)日本柔道整復師会北信越学会福井大会が平成25年6月16日(日)に福井商工会議所ビルコンベンションホールで開催され、県民公開講座・協賛研究発表・会員研究発表が行われました。

学会前日の開会式は、学会会長を務める日本柔道整復師会・萩原正会長の挨拶と(公社)福井県柔道整復師会・砂子隆一会長の歓迎の辞で始まり、続いて懇親会が行われました。

学会当日は、500名以上の参加者で会場は満席に。県民公開講座は「ひざ・腰・肩が楽になる一生7秒健康体操」と題して湯浅景元中京大学スポーツ科学部教授が講演を行い、生活の中で簡単に取り入れられる体操を参加者に伝授しました。講演の中で先生は、関節の痛みを防ぐポイント、体の負担を少なくする動きなどを紹介し、1日15分程度のウォーキングを勧められました。「歩くときは背筋を伸ばしてひじを曲げ、手は軽く握り(親指は外)、腕を振る際



は肩の負担を減らすよう、斜め前、後ろに振るなどアドバイスも非常に具体的です。また、関節を柔らかくするためのストレッチ法や痛みを予防する筋力トレーニングも実演を交えて紹介。座ったままできるウォーキング、立つときに手を使わないようにするだけで膝の痛みを予防できるなど、普段の生活から健康づくりを意識することの大切さを呼び掛けられました。

※平成25年6月23日の日整役員改選で工藤鉄男(東京都)が会長に就任しました。



湯浅先生はフィギュアスケートの  
浅田真央選手も指導されている。

### 会員研究発表

「能登和倉万葉の里マラソン」ケア  
サポート活動報告  
~2013年大会での課題  
克服報告~  
赤池 敬順会員



低体温症や下腿痙攣等への対策と結果について考察し、イベントボランティアに参加することの意味、行政連携や医接連携の必要性を発表。



本会の中田健市学術部長  
が座長を務めた。

### 協賛発表

「柔道整復師と介護保険について」  
(公社)日本柔道整復師会保健部介護対策課  
三谷 誉先生・藤田 正一先生

運動実技を含めた柔道整復師に必要な介護のスキルについて説明。

### 介護セミナー

「柔道整復師と介護保険について」  
(公社)日本柔道整復師会保健部介護対策課  
三谷 誉先生・藤田 正一先生

運動実技を含めた柔道整復師に必要な介護のスキルについて説明。

●詳細については学会誌抄録をご参照ください

## 喜びの受賞者

### 石川県知事表彰

柔道整復師会では、柔道整復師として研鑽を積み施術を通して地域医療に貢献してきた会員に対して表彰を行っています。今年は3名の会員に石川県知事表彰が贈られました。

### 「心の修行」に導いてくれた たくさんの出会いに感謝

昭和58年6月に石川県柔道整復師会に入会、開業して早や31年がたちましたが、日本柔道整復師会北信越学会での勉強のことや木島病院での研修、開業してからのことなど色々なことが去來して今更ながら、良き師匠に出会い、素敵な先輩方に教えられ、熱き同輩に恵まれ、優しい後輩達に教えられながら良き縁を持つことができたことに感謝し、優秀な門下生たちのお陰で何とかつがなく過ごせたことに、心からの御礼と感謝を申し上げる次第です。

開業した最初の頃は自信があったのですが、1年も過ぎる頃にはそれが何の根拠もない自信だということを痛感し、今は亡き木島先生に私が思っていることを聞いてもらったりことがあります。私が先生に「よく解らない患者さんが多くて経過観察ばかりです」と訴えましたところ、木島先生は「それで良い、経過観察に気が付けばそれで充分だ」と答えられました。その言葉を聞いて何となく気が晴れたというか、気持ちが軽くなったことを覚えています。

素敵な先輩方には、人間修行というか心の修行の大切さ、心の持

ち方の大切さを教えていただきました。心で話すことの大切さ、患者さんを大切にすることなどは、どういうことなのかを教えていただきました。

不出来な私を導き教えてくれた先生方のご恩を忘れず、受けたご恩を周りにお返しできるかというとはなはだ疑問ですが、これからも何とか柔道整復師会のお役に立てればと思いながら業務に励んでいきたいと思っております。

本当にありがとうございました。



金沢南支部  
山下 純二



谷本正憲石川県知事と木山時雨会長を囲んで(写真左から大門健会員、高熊二夫会員、木山会長、石川県知事、山下純二会員)。

## 石川県知事表彰

### 出会ったすべての人々に感謝します

この度、第38回定時総会において医療功労者石川県知事表彰を谷本正憲知事より直々にたまわり、誠にありがとうございます。これも会長はじめ、理事、諸先輩、会員皆様のご指導ご支援の賜と心より厚く御礼申し上げます。

振り返れば30年前の梅雨半ば、初めて柔道整復師会館にお邪魔し、故亀甲秀雄会長に面接していただいたことを今でも懐かしく思い出します。あれから30年、先輩、患者様、そして

### 感謝御礼…これからも

第38回定時総会では、谷本正憲石川県知事にはわざわざ足をお運びいただき、直々に医療功労石川県知事表彰を手渡していただきました。身に余る光栄と心より御礼を申し上げます。

振りりますと、本会入会より30年以上が経ちました。この間、歴代会長をはじめ執行部役員、支部役員の方々、会員各位のご指導とご鞭撻のお陰をもって、今日まで柔道整復師として業務に励んで来られたものと、心より感謝を申し上げます。

1989年、第2回日本接骨学会が京都市で開催され、多数の石川県柔道整復会会員と参加しました。全国から集まった会員の研究発表を見聞きしたこと、これが発奮材料となり、翌年、第3回の大宮大会にはブロック代表として参加し発表を行いました。以来、本会の会員研究発

家族に支えられて今日の私があると思います。

これからも、微力ながら地域医療に貢献し、柔道整復師会のお役に立てるよう努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願ひいたします。



金沢南支部  
**大門 健**

表、選ばれればブロック学会、あるいは日本接骨学会と発表の数を重ねてまいりました。

その心とは…日々来院される方々との対話と施療を通して、学校や病院、成書などによる学習や研修で学んだこと以上のものが、新たな知識として生まれてきます。そういう個人の経験を本会で発表し共有することで、会員諸兄のもとへ来院される数百数千数万の石川県民の健康に繋がる、との思いがあるからであります。今後も継続したいと願っております。

これからもよろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。



加賀支部  
**高熊 二夫**



## 厚生労働大臣表彰

2013年3月24日(日)、東京ドームホテルで開催された日本柔道整復師会「社団法人設立60周年記念式典」において、当会の2名の会員に厚生労働大臣表彰が贈られました。

### 柔道整復師が社会に貢献できる環境づくりに励みます

この度、栄えある厚生労働大臣表彰受賞にあたり、推薦いただきました木山会長はじめ関係各位には心よりお礼と感謝を申し上げる次第です。

これまで、会員皆様のご理解とご協力をいただきながら推進してきた本会の事業活動が評価されたということであり、会員を代表としていただいたものと思っております。会員皆様に心より重ねて御礼申し上げる次第です。

受賞に際し、今までの先達が築き上げた事業活動や柔整業務に対する思いを再考し、さらなる組織の発展と会員が安心して地域医療に貢

献できるより良い環境の構築、そして会員のみならず次代を担う柔道整復師が夢と希望を持てるように事業活動に取り組んでまいりたいと思っております。またそれと同時に、今後多くの会員が受賞の機会を得られるよう念ずるところであります。

会員皆様にはこれまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



加賀支部  
**嶋谷 清**



金沢北支部  
**大徳 勇**

### 「あなたの町の接骨院」を真情として

さる3月24日、日本柔道整復師会の社団法人設立60周年記念式典が桜満開の東京都で開催され、厚生労働大臣より労災補償行政関係功労表彰を賜りました。このような名誉ある受賞も、会員皆様はじめご推薦いただきました木山会長のお力添えと深く感謝を申しあげます。身に余る光栄と存じ、要職の重大さを痛感いたしております。

本会入会以来、「あなたの町の接骨院」を真情としてまいりました。今後も地域医療の発展やボランティア活動に励んでまいりたい所存であります。

平成11年に保険部長の要職を拝命した当時

は、保険医療制度が変動した時期もあり、職務を支えていただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

柔道整復師の仕事に對し魅力や希望を持てるよう、(公社)石川県柔道整復師会の進展のため一層の研鑽に努め、皆様の負託に応えてまいりたいと存じます。

結びに会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、お礼の言葉といたします。

## ボランティア活動報告

# 第62回 金沢百万石まつり

第62回金沢百万石まつりが5月31日から6月2日にかけて開催され、百万石行列が行われた6月1日に救護支援活動を実施、また翌日は早朝から、行列のコースとなった中央公園周辺の清掃奉仕も行いました。

### 百万石行列救護支援活動

#### 観客の中を巡回しながら救護活動

百万石まつりは、加賀百万石の礎を築いた藩祖・前田利家公の偉業をしのんで毎年開催される、金沢市民あげての祭りです。観光客も含む大勢の人が集まるこの大イベントを安全に運営するために、毎年多くのボランティアが汗を流しています。特に利家公の金沢城入場を再現した百万石行列はこのお祭りの最大の呼び物であり、行列が行われた6月1日(土)は日本赤十字社石川県支部が救護所を設置し、体調を悪くされた方やケガ人など傷病者の救護活動のほか、迷子捜索を実施。(公社)石川県柔道整復師会でも、金沢北支部を中心に延べ40名の会員がサポート接骨石川赤十字奉仕団として日赤石川県支部の活動を支援しました。



鳥肌が立つ  
ような迫力の演奏！

ロンドン五輪メダリストの松本薫選手も行列に参加。



当日は薄曇りの天候。金沢駅東口で行われたオープニングセレモニーでは、100名を超える太鼓演奏が観る人の度肝を抜きました。まさに百万石にふさわしい大迫力！圧巻の演奏でした。今年は松本薫選手をはじめ、金沢ゆかりのロンドンオリンピック出場6選手も加わり行列の参加者は約2500人、沿道には約40万人の観客が集まりました。行列区間が長いことから沿道



巡回班の打ち合わせ（金沢駅東口）。

## 新入会員紹介



### 加賀支部

平成25年4月1日入会

**角浦 大介**  
(つのうら だいすけ)

生年月日 昭和53年9月21日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住所 小松市上本折町87  
接骨院名 つのうら接骨院  
電話 0761-48-8887  
特技・趣味 スポーツ全般



### 金沢北支部

平成25年4月23日入会

**加藤 泰輔**  
(かとう たいすけ)

生年月日 昭和50年2月19日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住所 かほく市宇野気ヌ125-24  
接骨院名 かとう接骨院  
電話 080-3042-2911  
特技・趣味 バレーボール

の3か所に救護本部を置いて、本部付きスタッフと巡回班に分かれて救護にあたりました。特にAEDを担いで観客の中を巡回した二ツ谷金沢北支部長は一時たりとも気を緩めず、汗だくになって活動していました。

巡回はJR金沢駅東口広場前を2時にスタートした百万石行列に同行して金沢城三の丸広場までの3.5kmの道のりを歩ききった後も、百万石踊り流しが終わる午後9時過ぎまで続けられました。



喧噪の中で打ち合  
わせ。救護所で。



踊り流しが終了するまで巡回は続く。



学生を含む114名が華やかな祭りを陰で支えた。



### 金沢北支部

平成25年5月22日入会

**大島 久佳**  
(おおしま ひさよし)

生年月日 昭和44年2月27日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住所 金沢市桜田町2-122  
接骨院名 といた接骨院  
電話 076-256-1135  
特技・趣味 読書、旅行、スポーツ観戦

会員の家族も参加して  
清掃ボランティアを実施



お疲れさまでした。

行列が行われた翌6月2日(日)、晴天のもと54名の会員と家族が参加して、中央公園周辺の清掃ボランティア活動を行いました。前日はかなりのゴミが散乱していたはずなのに、集合した朝9時にはほとんどキレイにかたづけられていました。それでも約2時間、入念な清掃活動を行った結果、かなりのゴミを収集しました。

作業を終えた後、参加会員・家族は心地よい汗をふきながらまわりを見回し、きれいになった街並みに満足して解散となりました。



家族で参加。



気持ちいい汗をかく。



### 金沢北支部

平成25年5月22日入会

**俵 大輔**  
(たわら だいすけ)

生年月日 昭和54年2月22日  
出身校 北信越柔整専門学校  
住所 金沢市小金町7-18  
接骨院名 ワンオール接骨院  
電話 076-251-7058  
特技・趣味 スポーツ観戦

随想

## リーダーの条件・夢と希望 「仁」を心の糧として ～持つこと・与えること～

先ごろ、嶋谷清、大徳勇両副会長が厚生労働大臣表彰受賞の栄誉を受けられました。誠におめでとう、心からお祝いを申し上げます。

そもそもこの賞は、役員歴、開業歴などを積み上げて初めていただける賞であり、本県では昭和58年6月4日に故米澤利磨氏(元会長・当時81歳)が初めて受賞されて以来、70歳以上の先哲が綿々と続き両氏で7回目、30年の時を経て12人目に当たり、さらに歴代の中では最も若い還暦60歳での受賞です。若くしての受賞はそれだけに期待が大きいと言えましょう。

この文章のタイトルを「仁を心の糧として」といたしましたが、「仁」という文字は人偏に二と書きます。孔子は、人間と人間が顔を合わせたら互いに相手の立場になって事を考えようじゃないかと説いています。夫と妻、兄弟、姉妹、隣人と自分、そして患者さんと私たち柔道整復師…すべて人間二人の間に成立する約束ごと、



相談役  
**川本 力雄**

常に相手の立場に立ってものごとを考える道徳、思いやり、そして情熱でしょう。話のうまさではなく、本物の理念と議論、会員の声なき声に耳を傾けてface to face、足を運び意思の疎通を図っていくことが賢明であると考えます。

公益の組織にはガバナンスや情報開示なども大切ですが、これから誕生する未来の柔道整復師のためにも逞しい石川県柔道整復師会の創造を期待しています。

終始一貫、リーダーの条件は「夢と希望」を持つことです。



5月26日に行われた受賞祝賀会で乾杯の音頭をとる川本相談役(中央)。左は嶋谷副会長、右は大徳副会長。

**皆様の投稿をお待ちしています。**

テーマは自由。日々の雑感や接骨院へのご意見など、なんでも結構です。川柳、短歌、俳句等の作品やイラスト、絵手紙なども大歓迎です。

### 【送付先】

メールの場合 ■ B.sonnix@po3.nsknet.or.jp

広報部 佐藤裕之 宛

※件名に「広報原稿」または「広報写真」と入力ください。

郵送の場合 ■ 〒920-0031 金沢市広岡2丁目3-26  
石川県柔道整復師会 広報部 佐藤裕之 宛

※封筒に「広報原稿」または「広報写真」と明記ください。

## Topics -トピックス-

### トピックス①

#### 平成25年度IST(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)総会開催される



平成25年3月31日(日)ホテル金沢にて平成25年度IST総会が開催されました。総会では、平成24年度事業報告・収支報告(中間)、平成25年度事業計画案・予算案、役員の任期等の議案について、出席者70名により協議が行われました。

総会後は継続認定及び特別講演会が行われ、村山孝之金沢大学保険管理センター・スポーツ教育部門講師と金沢学院大学大学院・中川真依選手(ロンドンオリンピック飛び込み代表)との対談形式で、スポーツ心理学について学びました。その中で、中川選手がオリンピック前に陥ったメンタルダウンの事例を取り上げ、中川選手による症状と経過、村山講師がその原因について述べ、中川選手にサポートした事柄とそれによってどのように改善していくかを詳しく説明されました。



村山孝之先生と中川真衣選手の対談形式で講演会は進められた。



メンタル面でのサポートの事例に聞き入る。

### トピックス②

#### 嶋谷清副会長・大徳勇副会長の厚生労働大臣表彰受賞祝賀会を開催



表彰状を前に。大徳副会長(左)と嶋谷副会長。



川上監事による万歳で会はめてたくお開きに。

平成25年5月26日(日)午後3時よりホテル金沢において、本会の嶋谷清副会長、大徳勇副会長の厚生労働大臣表彰受賞祝賀会が開催され、来賓、本会会員含め59人が出席しました。

世話を代表の木山時雨会長が挨拶の中でお二人の功績を紹介し、今後の活躍に期待を寄せました。続いて、来賓としてご出席いただいた本会顧問の田中博人県議会議員、西徹夫弁護士より祝辞を頂戴しました。受賞者の挨拶では、過去を振り返り歴史の重みを感じる両氏の言葉に出席者一同耳を傾け、心から惜しみない拍手を贈りました。

次に川本力雄相談役の乾杯で祝宴に移り、フラスタジオ「カリコ」の方々による愛らしいフラダンスで最高潮に。嶋谷・大徳両副会長への温かい想いが溢れた祝賀会は、川上利昭監事の締めでお開きとなりました。

## 編 集 後 記

◆平成25年6月23日、(公社)日本柔道整復師会の総会に出席し、その際行われた役員改選を経て当会の木山時雨会長が副会長に就任いたしました。石川県から日の整副会長誕生により、当会の益々の発展に期待申し上げるとともに心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

なお、詳細は次号に改めて掲載いたします。

◆日常の施術の中で、不特定多数の患者様と接する機会の多い柔道整復師ですが、今世間で騒がれているパワハラやセクハラという言葉は縁のないものだと思っておりました。ところが受け取る側によっては、何気ない言動がパワハラ・セクハラに近いものとして受け止められる場合があることを知りました。

私たちのちょっとした言動で患者様やその家族に嫌な思いをさせ、傷つけてしまい、「接骨院なんか行かんとけばよかった」なんて言われかねない世の中になってしまった。しかし、よく考えてみると私たちの仕事は、患者様本人だけでなく、家族をはじめとするいろいろな環境を観て接していくかなければいけない仕事です。身体の痛みを抱えて来院された患者様に心の痛みを与えてはいけないのです。

私は広報の編集をとおして、読者に対する言葉や表現の大切さ学びました。これは仕事のうえでも同じことだと思います。会員の皆様もぜひ、言葉の大切さ、使い方を勉強され実践してみてください。患者様から違う評価が見えてくると思います。

(佐藤 記)

◆6月19日、福井で開催された(公社)日本柔道整復師会北信越学術大会で当県から赤池敬順会員が会員研究発表を行いました。個人的には、同じ能登支部から久しぶりの発表者を輩出したことは喜ばしい限りです。スポーツイベントでのサポート活動報告・問題提起という内容からすると、学術大会には少々不向きと感じる方もあるかもしれません。活動に参加したボランティアスタッフの真摯な取り組みが伝わり、寒冷の時期に開催されるマラソン大会への対応は、他県から参加された会員にも参考になったと思われます。また、サポート活動へ参加していない会員の方々へ参加を促す良い機会となつたこと、サポートを受けたランナーや開催する行政の方々に支えられて私たちのサポート活動がより充実してきたことが再確認でき、意義深い発表となりました。

◆百万石まつりで百万石行列が行われた翌朝に実施した「清掃ボランティア活動」には、多数の会員と家族が参加しました。小さいお子さんが大きなゴミ袋を持ち両親と一緒にゴミを集める姿や、新婚の会員が奥様と仲良くゴミを拾う姿に、カメラを待った私たち広報部員も目を細めシャッターを押しましたが、広報を担当させて頂いて分かったのは撮影の難しさ。当然ですが、高級なカメラを持っていい写真が撮れるというわけではありません。アングルやシャッターチャンスが良いからというだけでもない。そう言いながら、先日新しいレンズを買ったばかりなのに上位機種のカタログを広げて見ている私。この編集後記、妻には見せられません。

(錦川 記)

ビバ・シティ 第5号 (平成25年7月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会  
石川県金沢市広岡 2丁目 3-26  
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196  
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／木山 時雨  
■編集者／佐藤 裕之・錦川 孝彦・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛  
太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智